

臨床研究に関するお知らせとご協力をお願い

当院で非切除悪性遠位胆管閉塞に対してチューブステントを留置された患者様へ

当院では、下記のような患者様個人への影響が皆無である観察研究（介入がなく、人体から取得された生体試料を用いず、既存の診療情報のみを用いる観察研究）を行っております。研究参加による負担・侵襲・介入（追加の検査・処置等）はありません。また、氏名や住所などの個人が特定されうる個人情報提供または公開される事はありません。この研究の対象者にあたる方で、ご自身の診療情報が研究目的に利用されることを望まれない場合は、担当医（主治医）にお申し出下さい。

【対象となる方】

2020年4月から2024年10月の間に当院で胆膵がんによる非切除悪性遠位胆管閉塞に対してチューブステントを留置された患者様（対象外の場合もあります）

【研究課題名】

非切除悪性遠位胆管閉塞に対する新型2層構造チューブステントの使用成績

【研究責任者】

伊勢赤十字病院 消化器内科 村林 桃士
〒516-8512 三重県伊勢市船江 1-471-2
TEL：0596-28-2171

【診療情報の利用目的及び利用方法】

本研究の目的は、胆膵がんによる非切除悪性遠位胆管閉塞に対する新型2層構造チューブステント留置の成績を明らかにすることです。診療録にある既存の診療情報のうち、下記のもので収集され、検証・解析されます。診療情報は、研究責任者により適切に管理されます。

【利用される診療情報】

年齢、性別、Performance Status、原発部位、病期、血清総ビリルビン値、先行ドレナージの有無と種類、膵管閉塞の有無、十二指腸浸潤の有無、胆嚢・胆嚢管の状態、チューブステントの詳細（製品名、太さ、長さ、など）、早期有害事象の有無と内容、併用ドレナージの有無、臨床的奏功の有無、胆管閉塞再燃(RBO)の有無と成因、RBOの際の再治療の有無や内容、RBO以外の晩期有害事象の有無と内容、化学療法施行の有無、放射線療法施行の有無、病理診断名、生存期間

【研究の期間】

2020年4月から2025年12月（この間の診療情報が提供・利用されます）

【診療情報を利用する者】

研究代表者：伊勢赤十字病院 消化器内科 村林 桃士 （病院長：楠田 司）

【診療情報が研究目的に利用されることを望まない場合】

この研究の対象者にあたる方で、ご自身の診療情報が研究目的に利用されることを望まない場合は、担当医（主治医）までお申し出下さい。お申し出があれば、担当医（主治医）から研究責任者に要請を行い、診療情報の利用を停止します。お申し出による不利益は一切ありません。

【本研究に関する問い合わせ窓口】

伊勢赤十字病院 消化器内科 副部長 村林 桃士

TEL：0596-28-2171